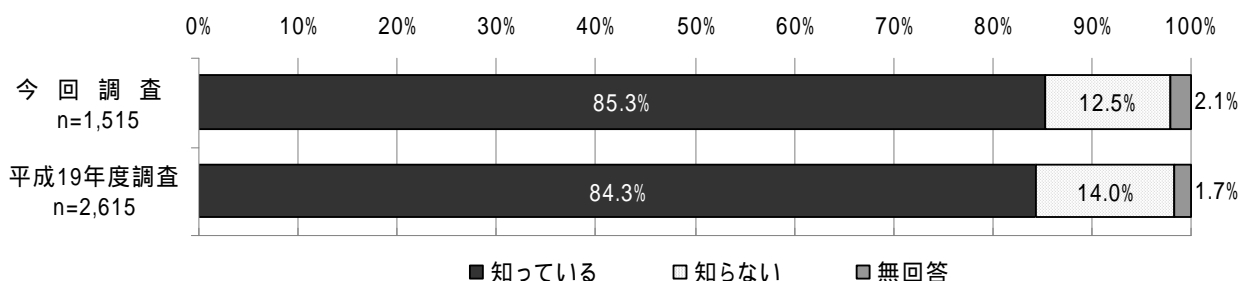


## 市町村で指定された避難場所

大規模地震などに備えて、市町村ではあらかじめ避難場所を指定しています。あなたは、指定された避難場所を知っていますか？

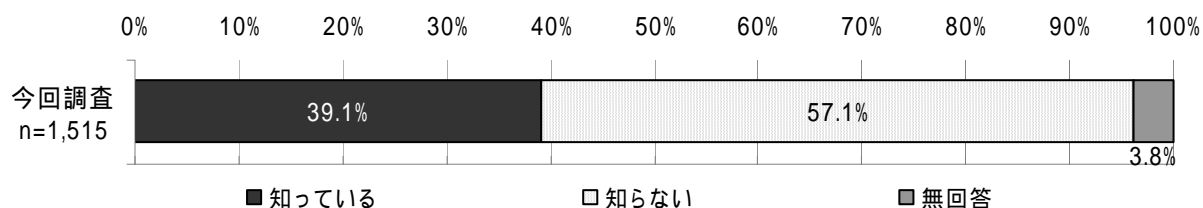
市町村で指定された避難場所を「知っている」人が8割以上です。  
「知らない」人は減少傾向です。



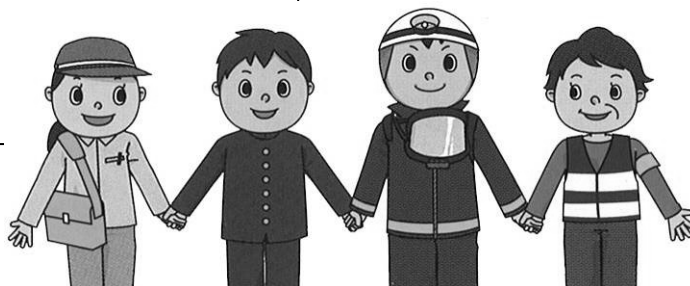
## 地域の自主防災組織

あなたがお住まいの地域には自主防災組織があるか、知っていますか？

自主防災組織を「知らない」人は57%です。



大規模災害の際の迅速で的確な対応には、地域のつながりが重要であるといわれています。



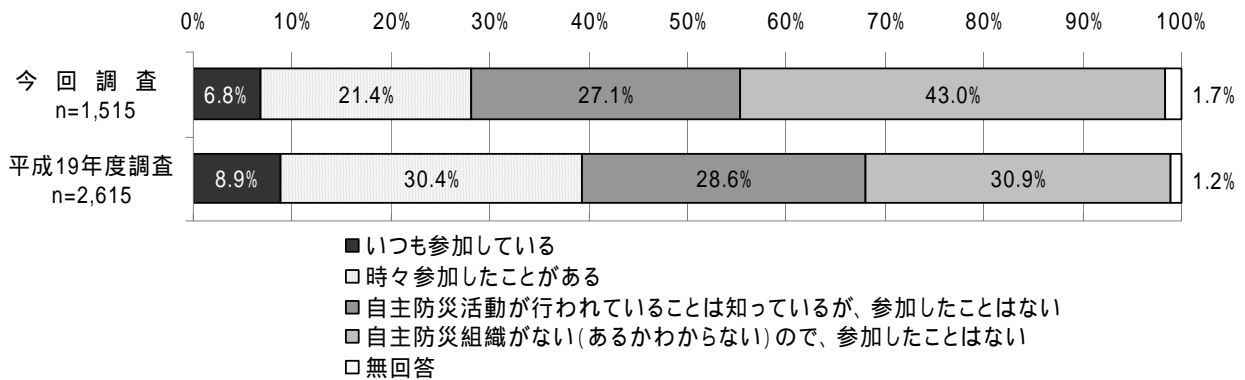
“自分たちの地域は自分たちで守る”  
という連帯意識を育てて、大規模地震  
の被害を最小限に抑えましょう。

## 地域の自主防災活動への参加経験

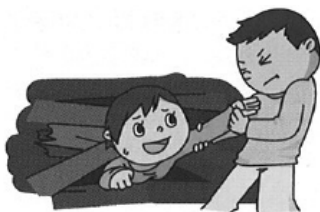
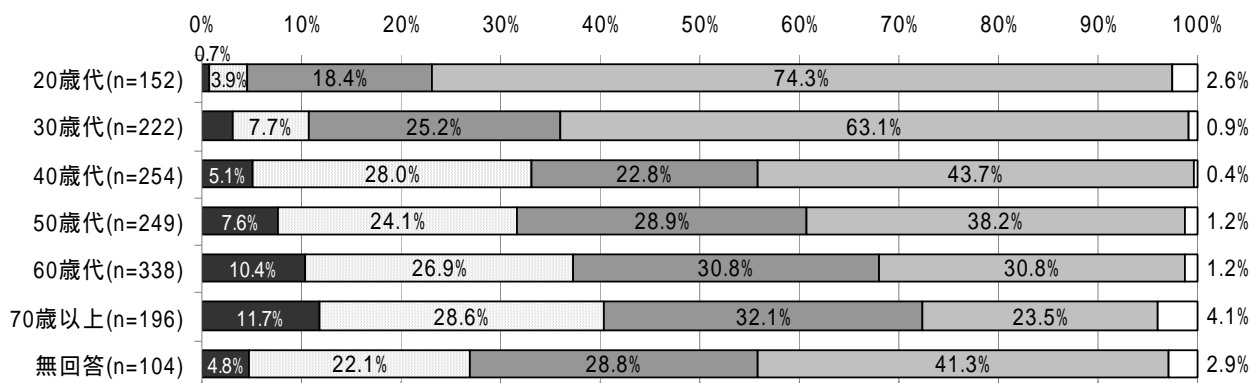
町内会や自治会、自主防災組織（消防団を除く）などにおいても住民の自主的な防災訓練や防災活動（防災機材の点検、防災知識の普及など）が行われています。あなたは、こうした自主防災活動に参加したことがありますか？

約3割の人が「参加したことがある」と答えています。

「参加したことがない」人は増えています。



年齢が低くなるほど「参加したことはない」人が増加し、特に20歳代では9割以上となっています。



阪神・淡路大震災では、救出者のうち生存者の占める割合は、被災当日は約75%でしたが、翌日は約24%になってしまいました。早く助けるほど生存の確率が高かったことを示しています。また、倒壊した家屋などの下敷きになった人のうち、警察・消防・自衛隊に救助された人は23%にとどまり、77%は近隣住民などによって助けられたという推計もあります。

(防災豆知識)

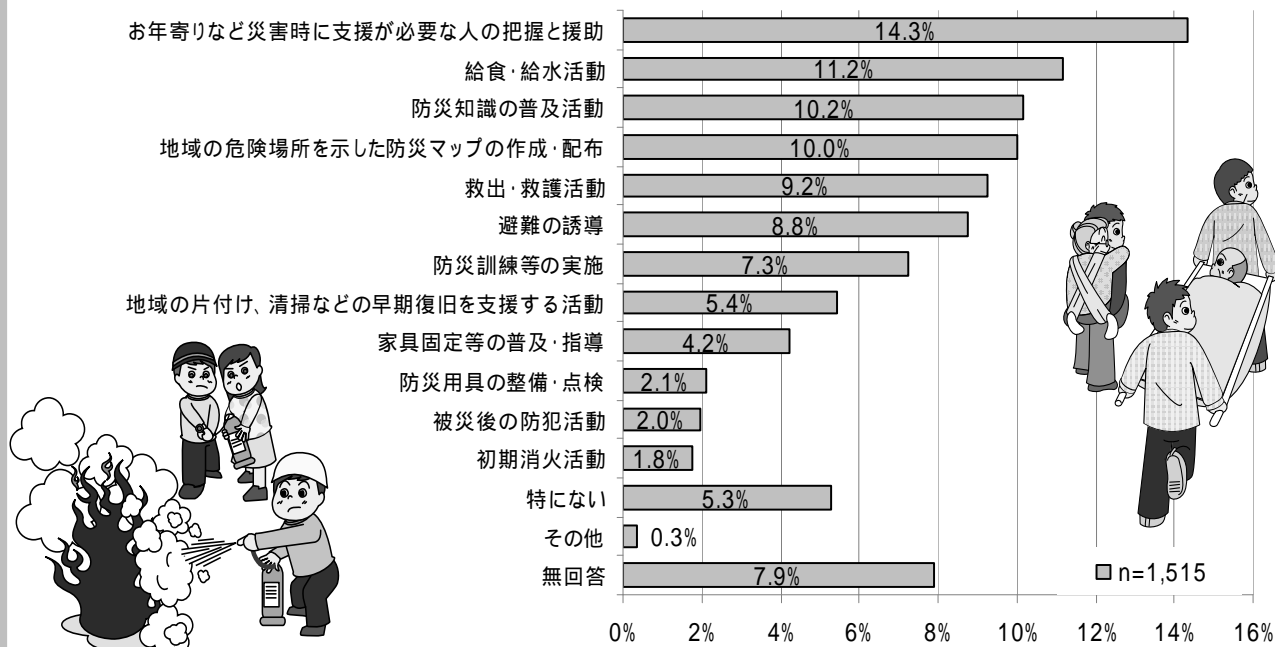
愛知県のほとんどの地域には、自主防災組織があり、地震等の大規模災害時に、地域で助け合うための活動をしています。大災害に備え、地域の自主防災組織の活動に積極的に参加してください。



## 地域の自主防災活動への期待

自主防災組織(消防団を除く)の活動として、どのような内容の活動を期待しますか？

14%の人が「お年寄りなど災害時に支援が必要な人の把握と援助」を期待しています。

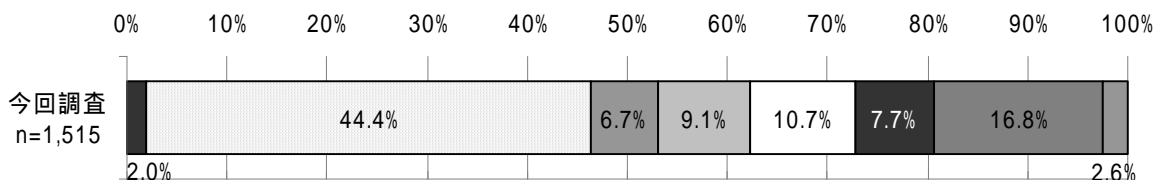


町内会や自治会、自主防災組織（消防団を除く）などにおいては、住民の自主的な防災訓練やその他の防災活動（防災機材の点検、防災知識の普及など）が行われています。

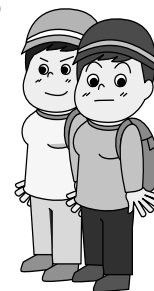
## 被災地でのボランティア活動への参加意向

災害が発生すると、被災地では救援・医療活動や復旧活動、物資の搬送や情報伝達といった様々な支援が必要となってきます。あなたはお住まいの地域以外で災害が発生したとき、このような活動にボランティアとして参加したいと思いますか？

約7割の人が、何らかの形で「参加したい」と思っています。



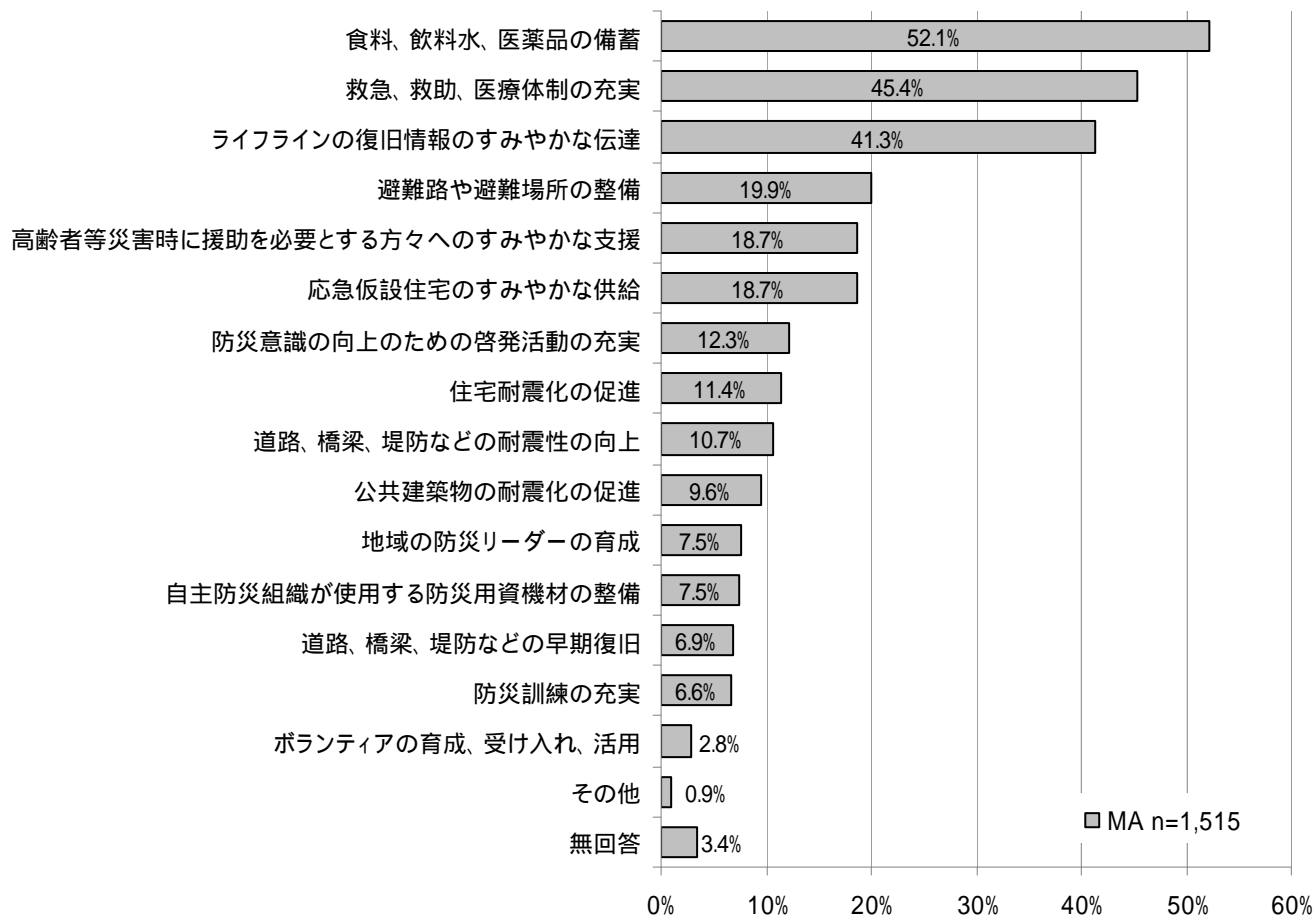
- すべてに優先して参加したい
- ボランティア団体からの要請があれば参加したい
- 親族や知人の住んでいる地域の災害なら参加したい
- 参加したいが事情があってできない
- 体力や時間等の条件が合えば参加したい
- 職場や学校の了解があれば参加したい
- 参加するつもりはない
- 無回答



## 県や市町村に力を入れてほしい地震対策

あなたが、東海地震・東南海地震に関して、県や市町村に特に力を入れてほしい対策は、どのようなことですか？（は3つまで）

約5割の人が「食料、飲料水、医薬品の備蓄」、4割強の人が「救急、救助、医療体制の充実」、約4割の人が「ライフラインの復旧情報のすみやかな伝達」を望んでいます。



県では、平成16年3月に「愛知県地震防災推進条例」を策定し、県、市町村、県民、事業者、自主防災組織、ボランティア等が協働して地震災害に対処する防災協働社会の形成に向けて取り組んでいます。

また、平成19年2月に策定した「第2次あいち地震対策アクションプラン」に基づき、地震防災に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

